

市議会だより

No.231

令和5年11月10日発行

編集／発行

福井市議会だより編集委員会

福井市大手3丁目10番1号

TEL.0776-20-5506

FAX.0776-20-5744



北陸新幹線福井駅入線歓迎セレモニー



福井市観光交流センターオープニングセレモニー



9月 定例会 (9月4日～9月27日)

市長提出の議案24件、報告11件を
審議しました

主な議案は4～5ページ
審議結果は13～15ページ

請願1件、陳情2件を審議しました

審議結果は15ページ

委員会審査

詳細は5～6ページ

議員19人が一般質問を行いました

詳細は7～11ページ

予算特別委員会

詳細は12～13ページ

特集記事

- 常任委員会の県外視察を実施しました
- 議場がバリアフリーになりました!

2～3ページ

↑ 北陸新幹線の福井駅入線歓迎

北陸新幹線金沢・敦賀間の試験走行開始に伴い、本市をW7系新幹線が走行するのを祝し、10月1日に入線歓迎セレモニーが開催されました。議長をはじめ、市長や地元小学生がくす玉を割って、北陸新幹線福井駅への入線をお祝いしました。また、同日には、北陸新幹線で福井を訪れる方へのおもてなし拠点として整備した「福井市観光交流センター」がオープンしました。

常任委員会県外視察報告

建設委員会

日程：令和5年8月9日(水)～10日(木)

※総務委員会の視察は、台風の影響により中止となりました。

視察先：愛知県岡崎市

「QRUWA戦略～乙川リバーフロント地区 公民連携まちづくり基本計画～について」
岐阜県岐阜市「自動運転バスの実証実験について」



愛知県岡崎市のQRUWA戦略について視察

建設委員会は、愛知県岡崎市、岐阜県岐阜市を視察訪問しました。

岡崎市は、市の中心部を流れる乙川流域地区の主要回遊動線を「QRUWA(クルワ)」と名付け、「QRUWA戦略」に基づいた公民連携のまちづくりを実施しています。

この戦略において市は、単に補助金を交付するのではなく、民間と庁内他部署(消防、保健所等)との橋渡しを行うなど、より深く民間と関わることに力を入れているのが特徴的でした。

岐阜市では、自動運転バスの公道での実証実験を進めており、今年の秋からは全国初となる中心市街地での継続運行を実施する予定とのことです。

近年は、交通弱者の増加に加え、バスの運転手不足も深刻化していることから、持続性の高い地域公共交通システムの構築を目的として本事業に取り組んでいるとのことであり、同じ地方都市である本市においても同様の事業の実施が必要ではないかと実感しました。

両市ともに、本市の中心市街地活性化の参考となる大変すばらしい取組でした。

教育民生委員会

日程：令和5年8月3日(木)～4日(金)

視察先：愛知県半田市「部活動の地域移行について」

愛知県小牧市「少子化対策(子育て支援)について」

教育民生委員会は、愛知県半田市、愛知県小牧市を視察訪問しました。

半田市では、市内5つの中学校区ごとに総合型地域スポーツクラブを立ち上げ、全国に先駆けて学校部活動の地域移行を推進してきました。しかし、様々な問題等が発生し地域移行には至らず、その経緯を踏まえ、現在、中学校部活動改革や課題解決のための体制整備を進めています。地域移行に係る諸課題は共通しているものが多く、本市の今後の参考となる大変有意義な視察でした。

小牧市は、令和5年4月より、0歳児から2歳児までの保育料を無償化しました。これにより、保護者の所得や児童の出生順位に関わらず、市内の保育園等に通う全ての0歳児から5歳児までの保育料無償化が実現しました。また、保育士確保のため、手当や補助金を支給し賃金の改善を行うほか、ICT化や業務見直しによる負担軽減などの取組を推進しています。

これまでの経緯、経費、効果等を調査し、本市の少子化対策の参考にしていきたいと感じました。



愛知県半田市のスポーツクラブハウスを現地視察

経済企業委員会

日程：令和5年8月2日(水)～3日(木)

視察先：新潟県上越市「上越市スマート農業プロジェクトについて」

富山県富山市「北陸新幹線開業・延伸に伴う観光対策について」
「富山市えごま6次産業化推進プランについて」

経済企業委員会は、新潟県上越市、富山県富山市を視察訪問しました。

上越市では、令和元年からスマート農業技術の実証プロジェクトを実施し、米の収量60kgあたりの生産コスト削減を目標として、スマート農機やICT機器を活用して各作業での労働時間の削減を行うことが出来ました。これらの取組は、生産者の高齢化に伴う担い手不足の解決に非常に有効ですが、機器の導入に多額の費用がかかるという課題もあるとのことでした。

富山市では、有名な観光スポットは、いずれも他市に所在していますが、新幹線開業後、市内の宿泊者及び宿泊施設数は増加傾向で、滞在拠点となっているとのことでした。富山市の観光施策としては富山城址の活用や、富山空港を利用したプライベートジェット発着による超富裕層の取込みなどを実施しています。また、富山市では、「えごま」の特産化を推進しており、栽培環境の整備、学校給食での提供、ブランド化に取り組んでいます。本市においてもオーリーブ栽培事業などの展開において参考となる取組であると思います。

いずれも有意義な視察となりました。



新潟県上越市のスマート農業実証圃場を現地視察

議場がバリアフリーに

傍聴席もバリアフリーです！
傍聴に来て下さいよ

なりました



フロア

議員が座る席は議場入口から続くフロアより高い場所におりましたが、フロアをかさあげするとともに、入口からはゆるやかなスロープを設けることで段差をなくしました。

質問席正面の壁にある発言残り時間の掲示板が見えなくても手元に掲示されるようになりました。

演台

リモコンで演台の高さを上げ下げします。

高さが表示されています。

車イス利用の場合はもちろん議員の身長差は20cm以上あります。

誰が質問する時にも、最適の高さに調整することができます。



昇降機



リモコンは本体上部と側面に2個あります。

階段状になっている議員の席にスムーズに昇降できるように昇降機が設置されました。

この部分が伸び縮みし昇降します。

障がいのある方が利用しやすい施設は、誰もが利用しやすい。議場だけでなく、市の施設のバリアフリー化をもっとすすめたいですね。



イラスト
山田ふみは

特別委員会の委員を選任しました

委員会名	委員名					○委員長	○副委員長
予 算	◎今村 辰和	○村田 耕一	見谷 喜代三	皆川 信正	野嶋 祐記		
	奥島 光晴	下畑 健二	藤田 諭	津田 かおり	寺島 恭也		
	山田 文葉	榊原 光賀	葛野 早智代	浦上 逸人	高田 稔浩		
	調査項目 各会計当初予算、補正予算の審査及び市政上の重要案件						
決 算	◎堀川 秀樹	○下畑 健二	見谷 喜代三	今村 辰和	伊藤 洋一		
	田中 義乃	池上 優徳	山田 文葉	酒井 良樹	榊原 光賀		
	調査項目 各会計決算等の審査						

主な議案

今回議決した主な議案等は次のとおりです。議案等の審議結果は、13〜15ページに掲載しています。

9月定例会

令和5年度補正予算

9月補正予算は、原油価格・物価高騰対策をはじめ、新幹線開業に向けた取組や結婚・出産・子育てに対する支援などの各種施策を推進するために予算措置が必要となった事業、また、大雨による災害復旧に要する事業について計上するものです。

今回の補正予算の規模は、一般会計で6億9,264万9千円、競輪特別会計で4,931万8千円、水道事業会計で402万4千円、集落排水事業会計で550万円を追加するもので、補正後の予算総額は、一般会計で1,329億8,132万7千円、特別会計で766億6,258万3千円、企業会計で317億9,652万4千円、全会計では2,414億4,043万4千円となります。

【主要事業】

- Ⅰ 原油価格・物価高騰への対応に関する事業
- ・ハピリン維持管理負担金

Ⅱ 新幹線開業に向けた事業

- ・公衆街路灯（防犯灯）電気料金補助事業
- ・漁業機器等導入支援事業
- ・水産業物価高騰対策支援事業

Ⅲ 結婚・出産・子育て支援に関する事業

- ・県都まちなか再生事業
- ・ポストコロナまちなか集客力向上事業

Ⅳ 各種施策を推進するための取組

- ・結婚生活スタートアップ応援事業
- ・母子家庭自立支援事業
- ・こども家庭センター設置事業
- ・園でラクラクポイント！おむつ廃棄事業
- ・ふくっこ応援事業
- ・子育て世帯対象デジタル地域通貨発行事業

Ⅴ 災害復旧に関する事業

- ・自治会による住民交流イベント等開催支援モデル事業
- ・障がい福祉分野におけるICT導入支援事業
- ・福祉避難所設置運営体制整備促進事業
- ・森林経営管理事業

Ⅵ 自主防災組織支援事業

- ・公営競技納付金
- ・福井市水道100周年記念事業
- ・集落排水整備事業

Ⅶ 福井市自転車等駐車場の設置及び管理に関する条例の一部改正について

- ・旧東山センター跡地災害復旧事業
- ・観光地災害復旧事業
- ・林業作業道復旧事業
- ・林業施設災害復旧事業
- ・山地災害復旧事業
- ・農地・農業施設災害復旧事業
- ・道路災害復旧事業
- ・河川災害復旧事業

※補正予算の概要については、市財政課のホームページを御覧ください。



条例

○福井市自転車等駐車場の設置及び管理に関する条例の一部改正について

自転車等駐車場を新たに設置するとともに、自転車等駐車場の名称の変更等を行うものです。

○福井市空き缶等の散乱及びふん害の防止に関する条例の一部改正について

ポイ捨ての原因となる路上喫煙を規制することにより、清潔でうつくしいまちをつくり、快適な都市環境の形成を目指すとともに、受動喫煙による健康被害などを防止し、市民の安全で健康な生活環境を確保するために行うものです。

○福井市火災予防条例の一部改正について

対象火気設備等の位置、構造及び管理並びに対象火気器具等の取扱いに関する条例の規定に関する基準を定める省令（平成14年総務省令第24号）の一部改正に伴い、蓄電池設備等について火災予防上必要な基準を定めるとともに、固体燃料を用いた厨房設備の離隔距離の基準を新たに定めるほか、所要の規定の整備を行うものです。



人事案件

○監査委員

本年9月21日をもって任期満了となる委員の後任として、堀田宏憲氏を選任することに同意しました。

○人権擁護委員

本年12月31日をもって任期満了となる委員6名のうち、栗波昭文氏、今富廣子氏、加藤三重子氏、横山満之氏を引き続いて、河合恭江氏、川崎清美氏を新たに、同委員候補者として推薦することに意見を求められ、異議がない旨を答申しました。

○公平委員会委員

本年10月1日をもって任期満了となる中川美津恵氏を引き続き同委員に選任することに同意しました。

委員会審査

各委員会の委員長報告から、主な質疑等の要旨を紹介いたします。
(委員会終了順に掲載)

北陸新幹線開業
効果最大化対策
特別委員会



《リニューアル後のプリズム
福井について》

問 店舗数など施設の詳細はいつ頃公表されるのか。

答 施設の面積が増えることについては報道等で聞いているが、施設の区割りや店舗の業種などについては把握し

ていない。先行事例である富山駅では、3月に物産販売施設がオープンしたが、その内容が公表されたのは12月の中頃であったことから、オープンの3か月前ぐらいにならないと見えてこないのではないかと考えている。リーシングする会社がテナント側と交渉している中で、の公表はなかなか困難ではあるが、今後も引き続きリニューアル内容などの把握に努めていく。

意見 福井駅周辺にはホテルや飲食店、物産販売店が少なく、新幹線が開業しても通過駅になるだけではないかという危機感を持っている。福井駅で降りた人々に来てよかったと満足していただけるよう有効な手段を考えていくべき。

《福井駅、富山駅、金沢駅、越前たけふ駅及びこれらの周辺における物産販売体制の現状について》

問 鹿児島中央駅にある屋台村のように、地元の小規模事業者も物産販売施設に出品できるような企画はできないのか。

答 地元の事業者が潤い、それが地域に還元されるという形で循環することが一番いいと考えているが、出店テナント料の高さといった問題など、難しい部分もある。このため、出店までには至らなくても、例えば商品を他の店舗でセレクト的に扱ってもらえるような取組ができないかなど、機会を捉えて関係者とも協議していきたい。



問 プリズム福井以外の福井駅周辺の物産販売店について、リニューアルの計画はあるのか。また、もし計画が持ち上がった場合、本市として補助金を交付するなどバックアップ体制は考えているのか。

答 現時点で福井駅周辺の物産販売店がリニューアルするという計画は聞いていないが、本市の商工政策として、地域経済の後押しをしていくことは重要なことだと考えている。勉強会でも話があったように、稼働部分は民間が自由な選択と責任で行うことであるが、行政としても必要な支援や集客効果のある取組などを行っていききたい。

総務委員会



《自治会による住民交流イベント等開催支援モデル事業について》

問 3つの補助要件のそれぞれが、その解釈が難しく、自治会長により、その解釈が異なることとならないか。自治会未加入者を巻き込んだイベントとす

るためには、イベントの種類や範囲をある程度示した解説書などがあると自治会長も助かるのではないかと考えている。

答 今年度初めて実施する事業であるため、まずは実施してみた後、わかりやすかったかどうかも含め、早い段階で効果検証を行い、来年度の事業実施に反映させていきたい。

問 事業の効果が現れるまでには息の長い取組が必要ではないか。例えば、イベント実施のチラシを配ることで、自治会未加入のマンション住人にも気軽な参加を促し、加入者・未加入者がお互い交流する中で自治会加入への糸口も生まれるのではないかと考えるが、いかがか。

答 1度イベントに参加しただけですぐに自治会加入に結びつくものではないことから、継続して事業を行っていくことが必要であると考えている。また、地域の自治会未加入世帯を含む全世帯が参加可能なイベントであることを補助要件としているため、自治会未加入のマンション住人も含め、自治会加入の一つのきっかけになるものと考えている。

建設委員会



《専決処分の承認を求めることについて（令和5年度福井市一般会計補正予算）》

問 本年7月の大雨災害により道路で63か所、河川で45か所と大変多くの場所被害が発生したとのことだが、被災箇所はどのように把握しているのか。

答 道路や河川等の被害状況については、住民からの通報や市職員のパトロールにより把握している。加えて、今年度からは地下道や浸水被害が発生しやすい箇所ウェブカメラを設置し、リアルタイムで状況を確認しながら浸水が発生した段階で速やかにパトロールを出している。これらの取組によって、浸水が頻発する場所はある程度把握できており、その情報を基に被害箇所の早期発見及び被害の全容の早期把握に努めているところである。

《市道の路線の廃止について及び市道の路線の認定について》

問 市道の廃止及び認定に伴い、誤合橋を取り壊すとのことだが、橋が撤去されることで大雨の際の対岸への移動に支障をきたすおそれがあるのではないかとといった地域住民からの不安の声や意見はなかったのか。

答 誤合橋の撤去に関しては、中町の住民とあらかじめ協議を行い、意見を伺っている。その協議の中で住民からは、橋が古く利用者がそもそも少ないことに加え、主要地方道福井四ヶ浦線の整備に伴い、誤合橋の上流側と下流側に新しい橋が架けられたことから、撤去しても問題ないとのことでした。承りだしている。

経済企業委員会



《消費税インボイス制度の実施中止を求める陳情について》

意見 年間売上高1,000万円以下の事業者、フリーランスにとっては、事実上の増税と

なるだけでなく、インボイス登録者の取引にも関わる問題であり、登録の有無により取引先との関係性の悪化も考えられることから、採択すべきとの意見があった。一方、OECD加盟国38か国のうち、36か国がこの制度を導入しており、例えば韓国のようにデジタルインボイス制度が導入されれば、納税が迅速かつ正確で効率的になる、極めてよい制度であることから不採択とすべきとの意見もあった。

《工事請負契約の変更について（中央卸売市場卸売棟屋上改修工事）》

問 富山市公設地方卸売市場は、その規模や衰退の具合など本市中央卸売市場と状況が類似しているが、現在PFI方式を取り入れて、市場内にスーパーマーケットを造るなど、抜本的な発想の転換による改修に着手している。一方、本市市場は、小規模な改修を行いながら、あと10年、20年維持できればいいという考えなのか。

答 卸売市場法の改正により、全国各地の卸売市場が再整備に向けて動いていることは認識している。本市では長寿

命化計画に基づき改修を進めているところであるが、市場での取扱高も減少していることから、今後は規模に応じた、また、民間活力を導入した整備内容などについて、場内業者も交えて議論を進めていきたい。

教育民生委員会



《こども家庭センター設置事業について》

問 センターの職員配置や身体的な業務は。

答 こども家庭センターは健康管理センター内に設置し、妊娠から出産、子育てに至るまで、子どもに関する相談・支援を一体的に行うこととなる。これまで、妊産婦に関する窓口は健康管理センター、子どもや虐待に関する窓口は子ども福祉課というふうに分かれていた相談窓口が1か所となり、心理士や社会福祉士といった専門職などを配置する予定である。こども家庭センターに行けば何でも相談でき、その相談内容を確実に支援につなげ、産後うつや虐待、ヤングケアラ

ーなどの様々な問題にしっかりと対応できる体制を取っていききたい。

《福井市空き缶等の散乱及びふん書の防止に関する条例の一部改正について》

意見 来年春の新幹線開業に合わせ、福井駅周辺の環境美化を図るため、路上喫煙禁止区域を指定することだが、新幹線開業により、多くの観光客が訪れることになり、その中には当然、喫煙される方もいることから、喫煙所への案内表示も分かりやすくするなど、愛煙家にも配慮した対応を行ってほしい。

問 路上喫煙禁止区域だと容易に分かるような表示などは行うのか。


答 禁止区域においては、周辺の施設管理者等と相談しながら、できるだけ分かりやすい表示や標識等を整備していく予定であり、また、来年3月の条例施行までにメディアなどでのPRにも努めていく。あわせて、喫煙される方に対して、スムーズに喫煙所へ案内できるように表示を考えていきたい。

一般質問

当面する諸問題について市の考え方を問うため、9月11日から13日までの3日間、19人の議員が一般質問を行いました。

※ 議員名の前の番号は質問順、()内は会派名、質問内容の掲載は大項目のみです。

<p>① 堀江 廣海 (一真会)</p> <p>1 本市のまちづくりについて</p>	<p>⑨ 高田 稔浩 (市民クラブ)</p> <p>1 北陸新幹線開業後の並行在来線のサービスについて</p> <p>2 ハートフル専用パーキングおよびハートフルパーキングについて</p>	<p>⑭ 山田 文葉 (日本共産党)</p> <p>1 夏の暑さ対策について</p> <p>2 補聴器への助成について</p> <p>3 文化会館について</p> <p>4 マイナンバーカードについて</p>
<p>② 池上 優徳 (一真会)</p> <p>1 福井市中央卸売市場について</p>	<p>⑩ 鈴木 正樹 (日本共産党)</p> <p>1 痴漢対策について</p> <p>2 原発処理汚染水の海洋放出について</p> <p>3 福井市の環境とエネルギー政策について</p>	<p>⑮ 浦上 逸人 (一真会)</p> <p>1 熱中症予防のための労働環境の整備支援について</p> <p>2 園芸の資材の購入支援について</p> <p>3 事業承継への支援について</p> <p>4 消費者教育の推進について</p>
<p>③ 野嶋 祐記 (新政会)</p> <p>1 旧文化会館の解体工事とその後の土地活用等について</p> <p>2 中央卸売市場の活性化について</p>	<p>⑪ 近藤 實 (無所属)</p> <p>1 ふるさと納税を大きく伸ばすこと</p> <p>2 これからのセーレンプラネットについて</p> <p>3 トイレの清掃・維持・整備(駅、公園、学校ほか)について</p> <p>4 公文書の開示(情報公開)を適切かつ速やかに!</p> <p>5 決算書を議会の認定に付する時期を早めること</p> <p>6 下水道事業、農業排水分(27,500万円)の覚書は不適切で悪質だ</p>	<p>⑯ 津田 かおり (公明党)</p> <p>1 女性活躍と男性の育休取得促進について</p> <p>2 ひとり暮らし高齢者の「終活」支援について</p> <p>3 子どもの「声」を活かす取組について</p> <p>4 誰もが投票しやすい環境づくりについて</p>
<p>④ 酒井 良樹 (市民クラブ)</p> <p>1 福井市中央卸売市場について</p> <p>2 まちなかの景観などについて</p> <p>3 ホームページリニューアル事業について</p>	<p>⑫ 佐野 弘 (一真会)</p> <p>1 子どもたちが元気に育つ環境づくりについて</p> <p>2 健康長寿な社会の実現に向けて</p> <p>3 働きやすい職場環境づくりについて</p> <p>4 北陸新幹線福井開業に向けた取組について</p> <p>5 農林水産業を取り巻く環境変化への対応について</p> <p>6 水害等災害発生時の情報共有及びその対策について</p>	<p>⑰ 漆崎 與 (一真会)</p> <p>1 豪雨災害への対応について</p> <p>2 農業の将来の姿について</p>
<p>⑤ 下畑 健二 (公明党)</p> <p>1 マイナンバーカードの活用について</p> <p>2 福井市国土強靱化地域計画について</p> <p>3 不登校対策について</p>	<p>⑬ 宮岡 勝也 (無所属)</p> <p>1 健康ポイント導入について</p> <p>2 オーガニック給食に係る食育とその導入について</p> <p>3 健康被害救済制度について</p>	<p>⑱ 堀川 秀樹 (市民クラブ)</p> <p>1 小・中学校におけるBLS事業の重要性と今後の運営について</p> <p>2 北陸新幹線の効果とその現実について</p> <p>3 道路工事における誘導用点字ブロックの問題点について</p> <p>4 再開発と共に衰退する自治会や商店街について</p>
<p>⑥ 奥島 光晴 (新政会)</p> <p>1 知育と徳育について</p> <p>2 先生の働き方改革について</p> <p>3 教員確保の一考察について</p>		<p>⑲ 岩佐 武彦 (無所属)</p> <p>1 7月13日の大雨の対応について</p> <p>2 一乗谷朝倉氏遺跡を世界遺産へ</p> <p>3 学校のプール学習について</p> <p>4 福井フェニックスまつりについて</p>
<p>⑦ 寺島 恭也 (一真会)</p> <p>1 近年の気候変動に伴う学校施設等への影響について</p> <p>2 新幹線開業後のまちづくり計画について</p>		
<p>⑧ 田中 義乃 (新政会)</p> <p>1 暑さ対策について</p> <p>2 自治会活動の活性化について</p> <p>3 2024年問題について</p>		

 各議員の一般質問要旨は、8ページから11ページに掲載しています。

一般質問要旨



ほりえ ひろみ
議員
堀江 廣海
一真会

質問

本市のまちづくりについて
人口減少・少子高齢化の時代にあつて、公共交通の要衝といわれる福井駅の周辺は、中心市街地、まちなか、市全域のそれぞれに暮らす人々にとって、どのような役割を果たす場所と考えているのか、また、そのことを踏まえて、現状に対する評価を伺う。

回答

本市は、中心部に市役所県庁、百貨店などの広域的な機能を有する施設があり、市街化区域では居住をはじめ、医療、福祉、商業施設等の生活サービス施設が確保されている。今後は、世界的なシテイホテルや大型コンベンションホール、福井の食を発信するフードホール、大規模なオフィスフロア、医療・福祉施設等、新たな都市機能が、中心市街地に加わる予定である。福井駅を中心に多様な都市機能が集積する中心市街地は、商業やビジネス、観光等の拠点として経済活動を支えるとともに、市民生活の質を高めるなど、その効果が市内全域に波及するものと考えている。



いけがみ まさのり
議員
池上 優徳
一真会

福井市中央卸売市場について

質問

福井市中央卸売市場は来年50周年を迎えるが、この間、情報通信技術の急速な進展、輸入食料品、加工食料品の増加、大型量販店の台頭による流通ルートの多様化等、市場外流通が進み、卸売市場を取り巻く環境が変化している中で、市場に対する市長の考えを伺う。

回答

近年、卸売市場は、インターネットなど流通構造の変化に伴い、全国的に取扱高が減少し、大変厳しい状況である。本市場では、早朝に獲れた魚をその日のうちに消費者に届ける「近海今朝とれ市」や、一般の方が買物や食事ができる「ふくい鮮いちば」など、特色ある取組を進めている。本市場は、福井市を中心とした広域的な生鮮食料品等を市民に供給し、事業者の経営安定化を図る中核的な物流拠点であるとともに、将来にわたって福井の食を守り、全国にアピールする重要な施設であると考えている。今後、「魅力的な市場」と「機能的な市場」の実現に努めていく。



のじま ゆうき
議員
野嶋 祐記
新政会

福井市中央卸売市場について

質問

一般開放されている「ふくい鮮いちば」の課題や問題をどう捉え、どのように対応するのか。また、市場本来の役割である取扱高を増やす努力や工夫も必要であり、福井の食のアピールも大切と考える。これらをどのように進めるのか。

回答

課題として、一般市民への認知度が低いため、市役所内に設置してある広告モニターやSNSで情報発信している。今年度はテレビCMを新たに作成し、福井放送にて毎週金曜日の朝に放送している。市場では、水産卸売業者による商品展示商談会の実施や、観光客に新鮮な魚を召し上がっていただくため、生きた魚を運ぶ活魚車や活魚水槽の導入等、取扱高の増加に向けて関係団体と協力しながら取り組んでいきたいと考えている。また、高校生のアイデアによる未利用魚を活用したスイーツやギョーザなどの水産加工品の開発を令和4年度に行い、今年度は一般販売や学校給食への展開も予定している。



さかい よしき
議員
酒井 良樹
市民クラブ

福井市中央卸売市場について

質問

「ふくい鮮いちば」の観光地としてのブラッシュアップと観光ルート化による活性化についての取組は、令和6年4月開業予定の「トレタス」と、ふくい鮮いちばとの棲み分けや影響、対策についてはどのように考えているのか。

回答

観光地としてのブラッシュアップのため、ふくい鮮いちば実行委員会との協議を進め、観光客の受入態勢の充実を図っていく。また、福井駅からお越しいただくための方策については、県・市・ふくい鮮いちば実行委員会等を含めた関係機関と、研究・協議を進めていきたい。「トレタス」は、県産農産物や魚介類、肉類のほか、6次加工品の製造・販売を行う一方、ふくい鮮いちばは、県内産だけでなく、全国各地の新鮮な食材の購入や、食事も楽しめる場所として定着している。それぞれの特色を生かした相乗効果により、周辺地区に賑わいが創出されると考えている。



しもばた けんじ
議員
下畑 健二
公明党

マイナンバーカードを活用した「行かない窓口」の実現について

質問

市役所窓口で「書かない窓口」「行かない窓口」を実現している自治体があり、市民の利便性が一気に高まる。本市では「書かない窓口」の令和7年度導入が予定されている。「行かない窓口」も同時に実現してほしいと考えるが、見解を伺う。

回答

現在、「行かない窓口」の取組として、住民票の写し、印鑑登録証明書などを取得できるコンビニ交付サービスがある。また、県や国の電子申請システムを活用し、子育てや介護関係などの手続のオンライン化に取り組んでいる。オンライン化がまだの行政手続については、申請件数の多いものを中心に、添付書類の有無などの条件を考慮し、優先順位を決めて順次オンライン化を進めていく。また、手数料が必要な申請についてもオンライン化を進め、「行かない窓口」の実現に向けて引き続き取り組んでいく。



おくしま みつはる
奥島 光晴 議員
新政会

知育と徳育について

質問

2023年度全国学力テストの福井県の結果は、小・中学校ともに3位以内であった。教育は知育・徳育・体育の3つの調和が大切である。知育だけでなく、徳育も全国トップクラスになってほしいが、道徳教科指導の課題について所見を伺う。

回答

道徳の評価は数値で表すことはできず、授業中の子どもの様子や、ワークシートに書かれた内容をもとに記録された成長の様子を、総合的な観点から評価している。教師が一人一人の子どもを観察することにおいては、教師の力量のみならず、時間や労力もかかることや、評価の仕方に差が見られることが課題となっている。

どの学校においても適切な評価ができるよう、各学校で研究を進めているところだが、市として研修や学校訪問などの機会を捉え、道徳の評価について助言していく。



てらしま きょうや
寺島 恭也 議員
一真会

学校プール開放事業について

質問

プール開放について、昨年度の運営方法を踏まえ、アンケートを実施したとのことだが、どのような結果だったのか。また、その結果により今年度の運営方法に変更はあったのか。加えて、来年度以降の見直しは考えているのか。

回答

昨年度は、市内50校を10グループに分けて13時から16時まで開放したが、アンケート結果においても昨年度と同じ時間帯での開放を希望する声が多かったため、今年度も概ね同様な形で運営した。なお、新型コロナウイルスの5類移行に伴い、今年度からは人数制限を撤廃した。

今年度のプール開放日数は、連日の猛暑の影響で2日間に留まったこともあり、来年度以降は運営方法を見直す必要があると考えている。現在、学校や保護者を対象にアンケートを実施しているところであり、その結果を踏まえ、今後の開放から比較的気温の低い時間帯に変更するなど、実施方法について検討していく。



たなか よしのり
田中 義乃 議員
新政会

自治会活動の活性化について

質問

自治会の加入率低下や役員負担の増加が問題となる中、防災などの新たなニーズへの対応が必要となっている。

若者世代の参加を促進し自治会を活性化させるため、電子回覧板の導入など自治会のデジタル化について検証する必要があると考えているが、今後の方針を伺う。

回答

自治会のデジタル化は、会員への連絡や会議の開催調整などを効率的に行うことができることから、役員の負担軽減や若い世代の自治会参加のきっかけになると考えている。しかしながら、高齢者層においてはデジタル機器に不慣れな方も多いため、現在は地域でのスマホ教室や、地域内のデジタルサポーター養成講座を開催し、自治会内での活用に向けた取組を進めている。

今後、自治会のデジタル化に向けた取組を支援するとともに、回覧物の電子化を進めている自治会の先進事例を紹介することでデジタル化を進めていく。



たかだ としひろ
高田 稔浩 議員
市民クラブ

JR越前花堂駅及び森田駅、大土呂駅のバリアフリー化について

質問

市内にあるJRの無人駅のうち、森田駅と大土呂駅は、車いすでホームまで行くことができるが、上り方面だけである。越前花堂駅は13段もの階段があり、上りも下りも車いすではホームまで行くことができない。

これらの駅のバリアフリー化について市の所見を伺う。

回答

森田駅、大土呂駅は築55年、越前花堂駅は築55年と老朽化が著しいことから、利便性向上による利用促進を図るためには駅舎の改修が必要であるとと考えている。

今後、駅舎の改修を計画的に進めていく中で、バリアフリー化についても利用者をはじめ沿線住民の意見を伺うとともに、ハピラインふくいと協議しながら対応していきたい。



すすき しょうじゅ
鈴木 正樹 議員
日本共産党

原発の処理汚染水の放出は許せない

質問

福島原発事故の処理汚染水の海洋放出は、安全性の科学的根拠が曖昧で、風評被害を恐れる地元住民や地産産業の担い手の気持ちを踏みにじるものだ。原発が集中立地する県都福井市としても政府に中止を求めるべきでは。

回答

9月5日の農林水産省の発表では、令和5年7月の海外向けの日本の水産物の輸出額は、中国向けが激減している一方で、そのほかの国については、目立った減少はないとのことであった。

今後の対応としては、国や事業者が責任を持って安全対策や風評被害対策を示すとともに、周辺国や関係自治体、水産業者、住民の方に対して丁寧に説明し、理解を得ていくことが必要と考える。



今後のセーレンプラネット（光学式放映機ケイロⅢ導入）について

質問

富山市科学博物館はハイブリッド・プラネタリウムの最高峰であるケイロⅢを13年ぶりに復活させた。費用は1億5,000万円程でセーレンプラネット管理運営費は1億7,500万円なので大きくはない。まもなく開業10年目だが導入の検討・具体化を。

回答

セーレンプラネットは、放映機を中央に置かず、ドーム内を多目的に利用することができ、多様な放映が可能である、高精度デジタル方式を採用している。

現在、この放映システムの一部耐用年数がきている放映制御器について、放映時の映像の欠落やフリーズを防ぐため、機器の更新を行っており、光学式を取り入れたハイブリッドシステム等の大規模改修については、今後の検討課題と考えている。



学校規模適正化の進捗状況、部活動地域連携・移行の課題について

質問

小規模の学校では、教科数に必要な教員が充足されないなど学校運営が難しくなっている。そこで、学校規模適正化について、今後の取組の計画を伺う。また、部活動の地域連携・地域移行について、現時点での進捗と課題に関する所見を伺う。

回答

学校規模適正化については、地域住民や保護者の意見は様々であるため、地域性も重視し、統廃合ありきではなく、地区全体の合意形成を図りながら進めていく。

部活動の地域連携・地域移行については、本市では、昨年10月から剣道をモデル事業として休日の活動を剣道連盟に委託して実施している。課題としては、指導者の確保及び育成などがある。これらの課題に対応するため、本年7月から総括コーディネーターを配置し、各種調整や検討を進めている。



健康ポイント導入について

質問

生活習慣を改善することで多くの病気を防ぐことが可能である。他市では健康ポイントという制度があり、行政が認定した予防行動をとるとポイントがたまり、様々なサービスが受けられる。福井市でも健康ポイントといった取組に予防の観点から取り組んでいるのか。

回答

本市では、生活習慣病を予防するため、健康101チャレンジ事業を実施している。本事業は、運動や食生活に関する健康づくりの取組や検診の受診によりポイントをため、一定のポイントを獲得した方に、抽選で商品券やお米などの商品をプレゼントするものである。

具体的には、参加者が自ら目標を立て、1か月間取り組むことでポイントがたまる仕組みになっている。今後、より多くの市民の方に参加していただけるよう工夫をしながら、健康づくりの取組を進めていく。



児童館ホールにエアコンの設置を

質問

夏休みに子どもたちが通う児童館のホールにはエアコンがない。教室では狭くて全員入るとエアコンが効かない。配備されたスポットクーラーは音が大きく涼しくならない。ホールにエアコンの設置を。スポットクーラーは指導員と相談し適切なものを配備すべき。

回答

児童館ホールの暑さ対策として、昨年度、全ての児童館にスポットクーラー等を設置した。

児童館の各部屋にはエアコンが設置されており、気温が高い日には暑さ指数等を考慮して涼しい部屋で過ごすなど、暑さに配慮した活動を行っている。

スポットクーラーに関する音や涼しさについては、現場の声を聞いていきたい。



事業承継への支援について

質問

地域経済を持続可能なものとするため、集落営農組織などの農業の担い手の事業承継について市はどのようなことを行っているのか。また、中小企業の商工業者に対して事業承継のアンケート調査を行ってはどうか。

回答

認定農業者については、現在、5年ごとに提出される農業経営改善計画認定申請書で農業経営の実態を把握しているが、一部の担い手のみとなっている。そのため、今後は全ての担い手を対象にアンケート調査を実施する。

中小企業者に対する事業承継のアンケートについては、今年7月に県が約6,000社に対して後継者の有無などに関する調査を行っている。事業承継については、県下一体となって支援を行っていることから、市独自のアンケート調査については考えていないが、県が行った調査等の結果を活用することで、事業承継の実態把握に努めていく。

「投票支援カード」の導入について



質問

本年4月の統一地方選挙で、様々な障がいにより代理投票を申し出た方は何人いたのか。

本市においても、困難を抱える人たちが投票に際して手伝ってほしい内容にチェックを入れて入場整理券と一緒に係員に手渡し「投票支援カード」を作成し導入する考えはないのか。

回答

本年4月の統一地方選挙で代理投票を申し出た人数は、知事選挙及び市議会議員選挙が182人、県議会議員選挙が173人であった。

投票支援カードは、投票しやすい環境づくりに寄与するものと考えており、本市においても次の選挙からホームページ及び各家庭に配布する選挙広報チラシに投票支援カードの様式と記載例を掲載する。

豪雨災害への対応及び農業の将来の姿について



質問

7月豪雨の時、文殊山西側の市道アンダーパスが冠水し全て通行できなくなりましたが、今後、どのような対応を考えているのか。

市の新規就農者数の状況その確保についての対策はどうか。本市農業の方向性について、どのような考えなのか。

回答

アンダーパスが冠水した要因を詳細に把握するため、排水施設の構造など地形的状況を踏まえ、調査を行う必要があると考えており、その結果を基に対応策を講じていく。

本市では、昨年までの5年間に、36人が新規で就農しており、今後も本市での就農の魅力を発信し、新規就農者の確保に努めていく。また、第2次福井市農業活性化プランにおいて、新規就農者の確保や農地の保全といった取組を進めている。今後もこのような取組を着実に進めることにより、本市農業の将来像と考える持続的な農業の発展の実現に努めていく。

小・中学生に対するBLS事業の重要性とその運営について



質問

一次救命処置等を指導するBLS授業に実績のあるNPO法人命のバトンは、人手不足等により活動継続に不安があるという。消防局も中学生を対象に同授業を行っているが、非番の職員が時間外勤務で対応している。一般に公募するかたちで民間に委託すべきでは。

回答

児童・生徒が、技術を持った方から実技指導を受けることは高い学習効果が期待できると考えている。中学校においては、消防局の普通救命講習会を活用している。また、小学校においては、命のバトンの多大な功績のおかげで指導を継続できている。

こういった取組は重要で効果があると認識しているが、事業を委託するかどうかについては、委託内容等を検討する必要があるため、教育部局と相談しながら検討していく。

一乗谷朝倉氏遺跡を世界遺産へ



質問

朝倉氏遺跡は国の三重指定を受けているが、三重指定を受けている場所は金閣寺や銀閣寺等6か所しかなく、朝倉氏遺跡以外は全て世界遺産に認定されている。朝倉氏遺跡の知名度アップのためのこれまでの取組と今後の登録に向けての取組について伺う。

回答

これまで、ソフトバンクのテレビCMで有名になった一乗谷ディスカバリープロジェクトや、日本遺産「福井・勝山石がたり」を通じた魅力発信のほか、県外での出向宣伝や観光商談会において積極的なPRを行い、遺跡の知名度アップに努めてきた。

世界遺産登録へ向けての取組だが、登録には様々な条件がある。それらの条件について研究するとともに、県や関係団体とも連携しながら、一乗谷朝倉氏遺跡の魅力を最大限に引き出し、一乗谷朝倉氏遺跡の本質的価値の未来への継承に努めていく。

一般質問ページにおいて、各議員の顔写真欄にある二次元コードをスマートフォンやタブレット端末から読み取ると、その議員の一般質問の動画を御覧いただけます。



予算特別委員会

各会派における
主な質疑内容を
紹介します。

会派の議員氏名左側の二次元コード
をスマートフォンなどで読み取ると、
各会派の動画を御覧いただけます。



一真会

見谷喜代三
今村辰和
榊原光賀
浦上逸人



9月21日



9月22日

い。アリーナ構想の進捗状況は現在どうなっているのか。また、出資者や寄附金などについては、どこまで話が進んでいるのか。

答 アリーナ構想については、経済界が今年の夏頃を目標に基本計画の策定を進めてきたところだが、検討に時間を要していることから現時点において計画は示されていない。

○アリーナ構想について
本市議会では昨年12月から、理事者や各会派の議員の代表、直近では事業者の代表も交えてアリーナ構想に関する勉強会を開催してきたところである。そのため、構想そのものについては理解しており、場所の提供などについても議会として納得してはいるものの、「こじはら」は建設に関する情報が耳に入ってきていな

現在、計画策定に向け、商工会議所が主体となって県及び本市と事務レベルでの協議を行っており、7月13日の勉強会開催以降、8月に入り3回実施したところである。また、整備運営スキームや、主な出資者が株式会社オールコネクトであることに今のところ変わりはなく、寄附金等については企業版ふるさと納税の活用に向けて調整しているとのことである。今後、整備費や施設の仕様、資金調達などについて慎重に検討を行った上で、目標としている令和8年秋頃までに開館

できるよう、できるだけ早く基本計画を示していきたいと伺っている。

○農業問題について

問 令和2年に策定した第二次福井市農業活性化プランにおいては、農地の集積・集約の具体的な取組として農地中間管理機構の活用により、農地の集積・集約を進めるとなっているが、農地中間管理機構を活用した農地の貸借契約期間は10年間と聞いている。契約更新が10年後ともなると、受け手である農業者の高齢化が進み、農業の継続が難しくなる。このような状況下で、新たな農地の受け手は十分にいるのか。

今後は若手の農業者や受け手である集落営農組織、JAなどの関係機関と協議する体制を構築し、受け手の課題について議論や意見交換することで、持続的な農業の発展に努めていく。

答 本市の受け手の平均年齢は68・4歳で、農地を貸した人が更新を希望しても高齢化や規模縮小などを理由に、受け手が更新を希望しないケースも考えられる。そのため、

新政会

野嶋祐記
藤田諭
奥島光晴



9月21日



9月22日

○園でラクラクポイント！ おむつ廃棄事業について

問 本事業はどのような内容なのか。また、民間の認定こども園や保育園などでは、既に取り組んでいる園も多いと聞くが、これらの園については対象となるのか。

答 本事業は保育園及び認定こども園において、これまで保護者が持ち帰っていた使用済みおむつを園で処分することにより、保護者の負担を軽減し、保育サービスの向上を図るものである。具体的に私立園に対しては、使用済みおむつを衛生的に保管できるごみ箱の購入費やおむつの収集運搬費の一部を補助することとしており、公立園については、ごみ箱の購入や収集運搬の業務委託を市が直接行うものである。なお、私立園での、ごみ箱の購入費補助は、本年4月1日以降の新規購入や買換え等であれば、既に取り組んでいる園も対象となる。一方、収集運搬費への補助は、使用済みおむつの処分を現在実施していない園に対し、この取組を勧奨することを目指すため、本年7月20日以降に取組を開始した園のみ対象としている。

市民クラブ

村田 耕一 高田 稔浩



9月21日



9月22日

○障がい福祉サービス事業者が所有する軽自動車、軽自動車税の減免について

問 種別割の減免対象を公益社団法人や公益財団法人、福祉法人に限らず、障がい福祉サービス事業を行う株式会社やNPO法人などにも拡大すべきではないのか。

答 障がい福祉サービス事業者は公益性が高い事業ではあるが、軽自動車税の減免については、税負担の公平性なども十分検討した上で、総合的に判断する必要がある。社会福祉事業に使用する車両に対する本市の減免制度は、県の自動車税の減免制度と同一の定めとなっていることから、今後の県の動きを参考にするとともに他自治体の実態等を把握し、必要性について検討していきたい。

要望 障がい福祉サービス事業所の安定的かつ継続的な経営を支えるため、補助金の交付だけではなく、税制面においても、法人の種類を問わず支援してほしい。

公明党

下畑 健二 津田 かおり



9月21日



9月22日

○電子図書館について

問 電子図書館は直接図書館に行かなくても利用できることから、まずは障がい者が利用できる電子図書館の導入を考えてはどうか。

答 国立国会図書館では、全国の公立図書館等から音声読み上げ対応の電子図書などを収集し、その電子図書を全国の公立図書館等が窓口となつて視覚障がい者などに提供する「視覚障害者等用送信サービス」を令和5年3月末に開始した。これに合わせて、本市の図

書館も電子図書導入の一環として、そのサービスの窓口となるための申請を行ったところであり、申請が承認され次第、視覚障がい者等が自宅などで電子図書を利用できるようになる。

日本共産党

山田 文葉



9月21日



9月22日

○キエーロの普及拡大など省エネ対策について

問 愛知県豊川市では、障害者就労施設が販売している生ごみ処理機「キエーロ」を同施設から購入した市民に対し、1万円を上限として購入価格の3分の2を補助する制度を設けている。本市においてもキエーロの購入に対する補助制度を創設してはどうか。

答 キエーロを利用して生ごみの量を減らすことは、生ごみ処理にかかる費用を削減できるほか、二酸化炭素の排出

抑制にもつながることから、まずはその仕組みやメリットについて、環境フェアや環境講座などで啓発を行い、広く市民に周知していく。キエーロの購入補助については、他市町の先行事例を参考にしつつ、本市の地域特性や市民のニーズ、財源や効果などを総合的に勘案し、現在策定中である脱炭素の指針などにおいて具体的に検討していきたい。



(9月定例会)

議案等の審議結果

議案番号	件名	審議結果		賛否が分かれた議案 (●印の賛否状況は15頁に掲載)
		日	結果	
第 88 号議案	令和5年度福井市一般会計補正予算	9月27日	原案可決	
第 89 号議案	令和5年度福井市競輪特別会計補正予算	〃	〃	
第 90 号議案	令和5年度福井市水道事業会計補正予算	〃	〃	
第 91 号議案	令和5年度福井市集落排水事業会計補正予算	〃	〃	

(9月定例会)

議案等の審議結果

議案番号	件名	審議結果		賛否が分かれた議案 (●印の賛否状況は15頁に掲載)
第 92 号議案	福井市自転車等駐車場の設置及び管理に関する条例の一部改正について	9月27日	原案可決	
第 93 号議案	福井市空き缶等の散乱及びふん害の防止に関する条例の一部改正について	//	//	
第 94 号議案	福井市火災予防条例の一部改正について	//	//	
第 95 号議案	福井市美山楽くらく亭の設置及び管理に関する条例の廃止について	//	//	●
第 96 号議案	工事請負契約の締結について (旧福井市文化会館解体工事)	//	//	
第 97 号議案	工事請負契約の変更について (中央卸売市場卸売棟屋上改修工事)	//	//	
第 98 号議案	工事請負契約の変更について (仮称) 福井市フットボールセンターグラウンド整備工事)	//	//	
第 99 号議案	工事請負契約の変更について (福井市立図書館リニューアル工事)	//	//	
第100号議案	財産の取得について (防火衣一式)	//	//	●
第101号議案	財産の取得について (高規格救急車)	//	//	●
第102号議案	市道の路線の廃止について	//	//	
第103号議案	市道の路線の認定について	//	//	
第104号議案	字の区域の変更について	//	//	
第105号議案	福井市土地開発公社の解散について	//	//	
第106号議案	監査委員の選任について	9月4日	同意	
第107号議案	令和4年度福井市各会計歳入歳出決算の認定について	9月27日	継続審査	
第108号議案	令和4年度福井市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	//	//	
第109号議案	令和4年度福井市簡易水道事業会計決算の認定について	//	//	
第110号議案	令和4年度福井市下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	//	//	
第111号議案	公平委員会委員の選任について	//	同意	
第 25 号報告	専決処分の承認を求めることについて (令和5年度福井市一般会計補正予算)	//	承認	
第 26 号報告	債権放棄の報告について	9月4日	受理	
第 27 号報告	専決処分の報告について (和解及び損害賠償額の決定について)	//	//	
第 28 号報告	福井市土地開発公社の令和4年度決算に関する報告について	//	//	
第 29 号報告	公益財団法人福井市ふれあい公社の令和4年度決算に関する報告について	//	//	
第 30 号報告	公益財団法人福井市ふれあい公社の令和5年度事業計画等に関する報告について	//	//	
第 31 号報告	公益財団法人福井市観光協会の令和4年度決算に関する報告について	//	//	
第 32 号報告	公益財団法人福井市観光協会の令和5年度事業計画等に関する報告について	//	//	
第 33 号報告	公益財団法人歴史のみえるまちづくり協会の令和4年度決算に関する報告について	//	//	
第 34 号報告	公益財団法人歴史のみえるまちづくり協会の令和5年度事業計画等に関する報告について	//	//	
第 35 号報告	令和4年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	9月27日	//	

(9月定例会)

請願・陳情の審議結果

請願・陳情番号	件名	審議結果		賛否が分かれた議案 (●印の賛否状況は15頁に掲載)
請願第3号	健康保険証廃止の中止を求める請願	9月27日	不採択	●
陳情第2号	四半世紀に及び1日平均1万人以上の乗客の新幹線敦賀駅での乗換えをやめ、新幹線大阪延伸完成まで、現行の特急「サンダーバード」「しらさぎ」を存続させるよう国に対し、意見書を提出することを求める陳情	//	//	●
陳情第3号	消費税インボイス制度の実施中止を求める陳情	//	//	●

賛否が分かれた議案等一覧

賛…賛成 反…反対 欠…欠席
※原則、議長（八田一以）は採決に加わりません。

会派名 議員名	審議 結果	一真会										新政会				市民クラブ			公明党		日本共産党		無所属													
		見谷喜代三	皆川信正	青木幹雄	今村辰和	堀江廣海	八田一以	池上優徳	寺島恭也	榊原光賀	葛野早智代	浦上逸人	漆崎與	佐野弘	加藤貞信	野嶋祐記	奥島光晴	伊藤洋一	藤田諭	田中義乃	堀川秀樹	村田耕一	玉村正人	酒井良樹	高田稔浩	下畑健二	菅生敬一	津田かおり	鈴木正樹	山田文葉	近藤實	岩佐武彦	宮岡勝也			
9月定例会																																				
第95号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	欠	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
第100号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	欠	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	
第101号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	欠	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	
請願第3号	不採択	賛	賛	賛	賛	欠	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	
陳情第2号	不採択	賛	賛	賛	賛	欠	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
陳情第3号	不採択	賛	賛	賛	賛	欠	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛

議長の動静(令和5年7月~9月)

7月10日	福井県市町総合事務組合 臨時会
18日	道路・河川要望活動(大阪府) 全国競輪主催地議会議長会 監事会(東京都)
19日	全国競輪主催地議会議長会 正副会長・監事・相談役会議、役員会、定期総会(東京都)
21日	福井坂井地区広域市町村圏事務組合議会 議会運営等懇話会(あわら市)
26日	全国市議会議長会 理事会(東京都)
27日	重要要望活動(東京都)
8月8日	福井坂井地区広域市町村圏事務組合議会 議員全員協議会、定例会(あわら市)
9日	福井県市議会議長会 定期総会
22日	福井県市議会議長会 知事要望
30日	北信越市議会議長会 理事会(富山県)

定例会外の議会日程(令和5年7月~9月)

8月1日	議会運営委員会
23日	北陸新幹線開業効果最大化対策特別委員会
28日	議会運営委員会、議員全員協議会

9月定例会

9月4日	本会議
5日	議会運営委員会
11日	本会議(一般質問)
12日	本会議(一般質問)
13日	本会議(一般質問)
14日	総務委員会、建設委員会
15日	教育民生委員会、経済企業委員会
21日	予算特別委員会
22日	予算特別委員会
25日	議会運営委員会
27日	議員全員協議会、本会議

第70回福井フェニックスまつり 「民踊大会」に参加しました

4年ぶりに完全復活した福井フェニックスまつりの民踊大会に、副議長をはじめ有志議員で参加しました。

生演奏での踊りは、練習の時の不安を払拭させ、ドキドキがワクワクに変わり、会場に集まった皆様と大いに盛り上がりました。

踊りながら周りを見ると、参加者同士が声を掛け合ったり、笑いあったり、また、沿道の方々も足を止めて観覧されるなど、一体感を感じるすばらしい復活祭でした。



議場コンサート

議場でコンサートを楽しみませんか? 入場無料

～輝く未来に向けて～

市民の皆様気軽に議場へ足を運んでいただき
議会を身近に感じていただくとともに
来春の北陸新幹線福井開業に向けた機運をさらに高めるため
議場コンサートを開催します。

令和5年 11月22日(水) 開場 13:00 / 開演 13:30 (終演13:55予定)
会場 議場(福井市役所本館8階) 定員 97名(うち、車椅子席6席) ※全席自由

演奏者

「トリオ・エクラ」



ソプラノ
東 園



クラリネット
吉田 ひろみ



ピアノ
岡 茜

予定曲目

- 君と旅立とう
 - 青春の輝き
 - 四季のメドレー
 - 君と描く未来へと
- From '君が最高に輝くように' 他

福井ケーブルテレビでも放送します。
詳しくは、ホームページを御覧ください。



傍聴してみませんか

本会議をはじめ、常任委員会や特別委員会等の会議を傍聴することができます。各会議の傍聴を希望される方は、下記を参考にお越しください。

傍聴できる会議	受付場所	受付時間	定員
本会議	市役所本館8階 議場入り口	開会30分前 から (先着順)	97名 (うち車椅子6名)
常任委員会 (総務、建設、教育民生、経済企業)	市役所本館8階 各委員会室前		若干名
議会運営委員会			
北陸新幹線開業効果最大化 対策特別委員会			
議員全員協議会 予算特別委員会	市役所本館8階 全員協議会室前		

※議場は席によって温度差があるため、傍聴の際には温度調整ができるような服装でお越しいただくことをお勧めします。
※詳細については、ホームページを御確認いただくか、電話でお問い合わせください。

請願・陳情等の 提出について

請願・陳情などは、年4回(3・6・9・12月)開催される定例会で審議されます。基本的にいつでも提出できますが、提出時期等詳細については、ホームページを御確認の上、電話でお問い合わせください。

お問い合わせ

議会事務局 議事調査課
TEL.0776-20-5510

編集後記

市議会だよりをお読みいただき誠にありがとうございました。今回、総務委員会の県外視察の記事がないのは、台風の影響で中止になったためで、御了承ください。9月定例会では、夏の暑さ対策に関する質問もあり、今年の夏が異常気象であったことが伺えます。私たちの討論の場、本会議場のバリアフリー化が進みました。演台は、車いすの議員だけでなく、体格差のある議員にも対応し、一人ひとりに寄り添っていることが実感できます。(編集委員 堀川、高田)

「次回」は 12月定例会(11月6日～22日)です

- 定例会の日程はホームページに掲載します。
- 本会議、予算特別委員会の模様は、ケーブルテレビのふくチャンネル121chで生中継及び録画放送します。
- 本会議、常任委員会等の模様は、インターネットで録画配信します。

市議会
ホームページ



本紙に関するお問い合わせ

議会事務局 庶務課
TEL.0776-20-5506
FAX.0776-20-5744

WEBでの
お問い合わせ
フォーム

